



はかないねえ

# 平家物語



はかないねえ

祇園精舎の鐘の声

ぎおんしやうじやのかねのこゑ

諸行無常の響きあり

しよぎやうむじやうのひびきあり

対句

沙羅双樹の花の色

しやらんじゆの花の色

盛者必衰の理をあらはす

じやうじやひつすいのごわりをあらわす

おごれる人も久からず

ただ春の夜の夢のごとし

たけき者もつひには滅びぬ

いほろ

ひとへに風の前の塵に同じ

えちり

祇園精舎の鐘の響きは

『諸行無常』（この世のすべては  
絶えず変化していくもの）だという  
響きが含まれている。

沙羅双樹の花の色は

どんなに栄える者も必ず衰える  
という道理を示している。

権力をもち得意になっている  
者の運命も

長く続くものではなく、  
春の夜の夢のようにはかない

強い者もついに滅びる

風に吹き飛ぶちりのようなものである

はかないねえ



はかないねえ

